

矢田津世子 （次） 小説家。明治四十年六月十九日秋田縣生れ、昭和十九年二月十四日歿（一九七一年）。本名ツセ。大正十二年瀧町高等女學校卒。『昭和五年雜誌』、『文學時代』の懸賞小説が當選。のち『白曆』同人。

譯著書、オレコツト作『若草物語』（譯編、昭和九年九月、千白少女畫報社）、『浦築坂』（昭和十一年七月、千白改造社）、『假面』

（昭和十一年九月、千白版曲莊「版曲莊文庫」）、『花蔭』（昭和十四年二月、千白實業之白本社）、『短篇一百人集』（合著、月刊文

章編輯部編、昭和十五年二月十八日厚生閣）、『築燕』（昭和十五年六月、千白白本社）、『女心拾遺』（昭和十六年一月五日筑摩書房）、

『茶粥の記』（昭和十六年八月二十一日實業之白本社）、『軍人檢護文藝作日誌・第一編』（合著、昭和十七年二月二十日軍人保護院編）、

『瀧ノ築女房』（昭和十七年八月一日豐國社）、（長）『少女小説』、『駒島日記』（昭和二十二年七月、千白東光出版社）等。